



学校法人志賀学園
久之浜こども園
令和5年8月31日

連日の暑さに負けず、朝顔やひまわりが元気よく咲いている一方、萩の花も咲き始めています。2学期が始まり子ども達の元気な声が園内に響いています。始業式の日に園庭で赤とんぼを1匹見つけました。毎日「暑い！暑い！」と言っている、季節はそこはかとなく、秋に変わっていることを自然が教えてくれます。

緑のカーテンとして育てたゴーヤや園舎裏の畑に苗を植えたスイカを収穫しました。さくら組の子ども達が大喜びでスイカを9個も収穫していました。こども園の周辺は自然が豊かで、その中でも園舎の西側にあるビオトープにはメダカやオイカワ、ドジョウがいて子ども達の人気のスポットになっています。ビオトープで池を覗いていた子ども達が「先生、来てみて！大発見！」「細いトンボがいるよ！」「光ってるよ！」と口々に教えてくれました。図鑑でよく調べてみるとイトトンボのようです。イトトンボはオニヤンマなどが直線的に飛ぶのに比べ、その飛翔はひらひらとゆったりしていて水辺の草むらに多く見られるそうです。まさに、ビオトープに生息しそうな生き物です。絶滅危惧種とまではいかないものの、珍しい種類になっているようです。夏の間、オニヤンマやシオカラトンボ、オハグロトンボはよく見かけましたが、新たにイトトンボや赤トンボも見られるようになり、ビオトープが小動物の生息場所になっています。

このビオトープは、2021年3月に、県の子ども未来局より助成金を受け、学芸大学名誉教授の小澤紀美子先生を中心とする「こども環境学会」の先生方のアドバイスを受けながら完成したものです。それから3年、岡田副園長が定期的に水の入れ替えを行ってくれるおかげで、魚や小動物が定着する立派なビオトープになりました。

8月22日に当時指導を受けた「こども環境学会」の先生方と県職員の方々が視察にいらっしゃいました。泣いているこどもがメダカを目で追い泣き止むことや虫大好きの子どものが増えたこと、子どもや保護者の皆様と共に試行錯誤しながら、徐々に作り上げてきたビオトープが今、子ども達の憩いの場になっていることを報告しました。保護者の皆様も、お時間がありましたら、お子様と一緒にビオトープに立ち寄り、メダカやドジョウを探してみたいかたがどうか。

今月は「防災の日」と「秋分の日」についてご紹介します。大正12年9月1日は関東大震災が発生した日です。その災害を忘れず今後の教訓とするために昭和35年に「防災の日」として定められました。被害を最小限にするために、園でも毎月避難訓練を行い安全点検をしています。ご家庭でも防災グッズの点検をおきましょう。

「秋分の日」は、先祖を敬い亡くなった人々を偲ぶ日として昭和23年に制定された祝日です。昼と夜の長さが同じくらいになり、この日を境に少しずつ昼が短くなっていきます。まだまだ夏の気配が残っていますが少しずつ秋を感じられそうですね。



9月の行事予定

日	曜日	行 事 内 容
1	金	体育教室（ばら・すみれ・さくら）
2	土	令和6年度入園希望者見学会及び説明会（9：30～）
3	日	
4	月	
5	火	英語教室（ばら・すみれ・さくら）
6	水	
7	木	習字教室（さくら）
8	金	体育教室（ばら・すみれ・さくら）
9	土	奉仕作業（たんぽぽ・ばら）
10	日	
11	月	身体測定（ばら）
12	火	英語教室（ばら・すみれ・さくら） 身体測定（すみれ）
13	水	身体測定（さくら） 避難訓練
14	木	お誕生会 習字教室（さくら）
15	金	体育教室（ばら・すみれ・さくら）
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	英語教室（ばら・すみれ・さくら）
20	水	
21	木	祖父母参観（ばら・すみれ・さくら） 身体測定（ちゅうりっぷ・たんぽぽ）
22	金	体育教室 身体測定（もも） おたより帳預かり
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	
26	火	英語教室（ばら・すみれ・さくら）
27	水	
28	木	お月見会
29	金	1号認定午前保育
30	土	運動会（もも・ばら・すみれ・さくら）